



校長 齊木 邦彦

「がんばれ！西高生」「くじけるな！西高生」

これまで「自分を信じる」ということを何度か申し上げて参りました。みなさんに向かっては、何となくわかった気になって、わかったような顔をして言うのですが、この言葉を自分自身に向けられたものとして受け取ると、実はよく理解できていなかったのだと気づかされます。

「自分を信じる」って、この頼りない自分の何を信じるのか、私は考え込んでしまいます。人に負けない力があって、自分はそれを信じる、ということではないと思います。人と比べて自分には力がある、という考え方は、状況次第でその自信はたやすくポキッと折れてしまいます。自分の能力を信じる、精神力を信じる、そのように〇〇(なにになに)力というのは、すべて違うように思います。

中国の古典『中庸』の冒頭は、「天命之謂性 率性之謂道」(天の命ずるをこ

れ性と謂(い)う、性に率(した)がうをこれ道と謂う)、このような一節から始まります。その人の性格、持ち前というのは、天から与えられたものである。弱点と感ずる部分も、天から与えられたものだから、そのまま素直に認めるしかない。素直に認めてそれにこだわらないように努める、そうすれば他に埋め合わせの長所を強いて見つけようと躍起にならなくても、その素直な努力そのものがいつの間にか自分の長所を形づくっていく、と解釈したいと思います。

「自分を信じる」とは、自分を越えた何かを信じる、自分を根底で支えているもの、自分の生きる意欲を生みだしているもの、そういうものの存在を信じていることなのではないかと考えます。本校の校訓「自己を知り、自己を深める」においても、自己を知ろうとする、自己を深めようとする、その過程で微かに見えてくるもの、それはおそらくすべての人に共通な何か、すべての人を根源で支えている何か、だと思います。自分を支えると同時に、すべての人を支えている何かがある。勉強も部活動も生徒会活動も、学校での活動は、その何かを感じさせてくれるのだと思います。(後期生徒総会でのあいさつより)

1年次 進路ガイダンス(職業編)～キャリアビジョン形成支援事業～

10月21日(金)に本校卒業生5名をお招きし、「社会を担う自立した社会人」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



- 鈴木 遥介さん**
会社員 旅行関係
H21年3月卒業
お客様の旅行イメージをつかむ
- 矢崎 理紗さん**
看護師
H21年3月卒業
看護実習を通して本気になれた
- 松永 佐和子さん**
小学校教諭
H18年3月卒業
頑張ったことが子供の反応としてかえってくる
- 中込 陽介さん**
消防士
H11年3月卒業
現場で動けるため日々訓練
- 渡邊 康二さん**
会社員 住宅販売
H10年3月卒業
あえて苦手な営業職を選択



1年次生の感想

やはり、仕事は自分のためではなく人のためにやるのだと改めて感じた。自分のやりたい道を見つけられるように自分でも調べたりしたいと思った。

1年 小宮山将人(玉樟中)

仕事のやりがいと苦労することは表裏であり、大変なことをやるからやりがいがあるということを学んだ。自分の好きなことをやり続けるためにも高校生活を頑張りたいと思った。

1年 石川愛花(竜王中)

仕事のやりがいは自分が頑張っただけそれがかえってくる。どんな仕事にもその先には人がいて、その人との関わりが大切ということ。このことを進路選択に役立てたい。

1年 高添真衣(勝沼中)

5人の先輩の話を聞いてその職業も最後は人のためということに辿り着くのだと感じました。私も人のために生きたいと、少しでも将来のことを考えることができました。

1年 岡部志保(甲府西中)

陸上女子 関東駅伝大会初出場

11月19日に関東高校駅伝2016群馬大会に出場しました。レースでは5人全員が練習の成果を発揮し県大会の記録を大幅に更新しました。他県の選手の走りも見ることができ、良い刺激になりました。西高の関東駅伝大会出場は今回が初めてでしたが、これからも出場できるように、一緒に走ったメンバーやサポート、応援して下さった方々に感謝の気持ちを持って今後の練習に励んでいきます。



- 1年
天野 真(甲府北中)
佐野 梓(韮崎西中)
矢崎 碧(双葉中)
- 2年
清水 彩花(山梨大学附属中)
宮崎 莉帆(甲府北中)

主体的な学びに向けて

11月21日、「円錐の体積公式に1/3がつくのはなぜか」という課題に、2年5、6組の生徒が様々なアイデアをもって取り組みました。この授業で、全校の先生が、「探究」「行動」「振り返り」を通じて、学び合う者どうしが主体的に課題に向かう授業について研究しました。当日は山梨県国際バカロレア導入検討委員会が開催され、委員さんも授業を参観しました。



Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2016.12 編集/広報委員会



*stage /steɪdʒ/

【「立っている場所」が原義】 — 因 (因) ~s/-iz/) 因

- 1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)
- 2 [活動の]舞台、場所 [for, of]
- 3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)
2 N-stage 西高生の活動舞台

vol.47

2016.12 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

nstage

山梨県立甲府西高等学校
Kofu Nishi High School

西高の秋 進路実現に向かって



■秋の西高行事特集

- 芸術鑑賞会
- 球技大会
- 健康の森ウォーキング
- 県芸術文化祭

9月
16日

芸術鑑賞会

『奇想天外歌舞音曲劇 げんない(劇団わらび座)』 コラニー文化ホール

爽やかな秋風が吹き始めた9月16日、コラニー文化ホールで芸術鑑賞会が開催されました。今年度は劇団わらび座による「奇想天外歌舞音曲劇 げんない」を全校で観劇しました。



演劇は「鑑賞する」ものではなく「体験する」ものだと気付かされました。キャストの方々や時間と空間を共有し、一緒に体験する。自分の前で物語が展開し、それに伴って自分の感情が大きく揺さぶられていくのが実感でき、素直に感動できました。 1年 深沢有佳 (若草中)

「過去は変えられぬ。今もままならぬ。ただひとつ、人の力で未来は変えられる。」最後まで自由に夢を追い続け、諦めなかった登場人物達。今、私は受験で大変な思いをしている。しかし、未来に向かって好きなことができるように改めて努力をしていこうと思った。 3年 遠藤春花 (甲府北中)

9月
30日

秋季 球技大会

4日間の前期期末試験終了後、サッカー・ソフトボール・バレーボール・バスケットボールの4種目において、学年オープンのトーナメント制で戦いました。クラスの団結力も高まり、リオ五輪に勝る熱戦が繰り広げられた秋晴れの1日でした。



快晴の9月30日に行われた球技大会は、生徒会役員で運営する初めての行事でした。放送部と協力した「甲州弁ラジオ体操」での準備運動など新たな取り組みもやってみました。大会でも西高生の素晴らしいプレーがたくさん見られ、大成功の球技大会でした。3月には春季球技大会もあります。クラス最後の思い出づくりに全力で楽しみましょう。 生徒会 体育局長 2年 田辺雅子 (山梨大学附属中)

10月
12日

健康の森ウォーキング大会

10月12日(水)、快晴の朝「健康の森ウォーキング大会」がスタートしました。現コースとなってから20回目の節目の大会でしたが、全行程15.2kmをそれぞれの計画のもと、走る生徒、ひたすら歩く生徒など、思い思いに秋の1日を満喫したようです。



「最後だから思いっきり楽しもうね!!」とスタートした高校生活最後のウォーキング大会。目にする景色が秋色に染まっていることや風にゆれるコスモスに目を向けることができたことはとても新鮮で、そのことこそ私たち3年生にとってのウォーキング大会の意味であるように思えた。ふと気が付くと世界史の問題を出し合っている素の自分たちに苦笑いもした。あっという間の15キロだったけど、途中何度も仲間の笑顔に出会うことができた。その笑顔が今の私たちにとって大きな力となっている。 3年 城 真理 (山梨南中) 新谷和奏 (山梨大学附属中)

11月

第37回 山梨県高等学校 芸術文化祭

11月芸術の秋。高校文化部の祭典「芸術文化祭」が今年も開催されました。出場14部門の中から、吹奏楽・写真・放送・文芸の4部門が来年度の全国大会への切符を手にしました。



吹奏楽部

芸術文化祭賞(第1位)

私たちは11月4日に行われた県芸術文化祭において「芸術文化祭賞」をいただき、来年度山梨県代表として宮城県で開催される全国高等学校総合文化祭へ出場します。今夏のコンクールから共に活動してきた1、2年生全員で臨める最後の大会

きなこの芸文祭でこのような結果を残すことができても光栄に思います。これからも「心に響く音楽」を求め続け、頑張っていきたいと思います。 吹奏楽部部長 2年 中村美友 (塩山中)



写真部

優秀賞 2年 佐野 啓 (諏沢中)

私の祖母を撮ったのですが、満面の笑みを引き出すのに苦労しました。「笑って」といっても表情は硬くなるばかり。話をしている瞬間にとても良い笑顔が撮れました。全国大会では光のあて方や被写体角度など、集まった一枚一枚から勉強させていただきます。もちろん仙台グルメも堪能させていただきます。



放送部

朗読部門 優秀賞 2年 中沢芽伊 (韭崎西中)

今回は、辻村深月さんの「朝が来る」という作品を朗読しました。「普通の家族」に対する憧れを描いた作品です。これまでとは少し違った雰囲気の記事に挑戦したこともあり、このように入賞させていただいて嬉しく思います。全国大会に向けて、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず丁寧に読んでいきたいです。



文芸部

小説の部 芸術文化祭賞 詩の部 芸術文化祭賞 2年 青柳百音 (甲府西中) 3年 望月友新 (甲府東中)

「いじめ」をテーマにした詩で芸術文化祭賞をいただきました。たとえ偽善であっても、気まぐれであっても、もし手を差し伸べたなら、それは正義なのだろうという想いを綴りました。(望月) 芸術文化祭の小説部門で芸術文化祭賞をいただきました。2年連続での受賞ということで驚きと嬉しさでいっぱいです。これからも素直で等身大な話を書けたらと思います。(青柳)

平成28年度 山梨県高等学校芸術文化祭 甲府西高校入賞結果

H29みやぎ総文祭出場決定

吹奏楽部 芸術文化祭賞(第1位)

書道部 優秀賞 2年 望月歩佳(双葉中)
音楽部 優秀賞
箏曲部 優秀賞(第3位)
囲碁部 団体戦 芸術文化祭賞 ※関東大会出場決定
個人戦 第3位 1年 望月雄真(竜王中)
将棋部 個人戦 芸術文化祭賞 2年 山内敦貴(増穂中) ※関東大会出場決定

文芸部 小説の部 芸術文化祭賞 2年 青柳百音(甲府西中)

写真部 優秀賞 2年 佐野 啓(諏沢中)

文芸部 詩の部 芸術文化祭賞 3年 望月友新(甲府東中)
詩の部 優秀賞 2年 西田安利(山梨大附属中)
短歌の部 優秀賞 3年 田部井海美(山梨大附属中) 深澤海結(山梨大附属中)
保坂亮磨(北東中) 橋田優香(塩山中)
高橋美穂(山梨大附属中) 新田佳永(甲府西中)
本山理駆(山梨大附属中) 日向美紗希(甲府北中)
渡邊菜月(田富中)
俳句の部 優秀賞 3年 中込博之(春日居中) 前島永幸(韭崎東中)
随筆・生活の記録の部 優秀賞 1年 磯野瑠翔(増穂中)